

別記様式第5号(第5条関係)

公文書一部開示決定通知書

蘭 観 号
令和2年12月11日

野 村 一 也 様

蘭越町長 金 秀



2020年12月7日付けで請求のありました公文書の開示について、次のとおり一部を開示することと決定しましたので、蘭越町情報公開条例第13条第3項の規定に基づき通知します。

1 請求に係る公文書の名称又は内容	元蘭越町営チセヌプリスキー場にかかかかる以下の文書 2015年10月18日、UTグループが、公募条件変更（連帯保証人追補）を理由に譲渡金額の減額を求め、遠路、蘭越町役場を訪問した際において、蘭越町の対応内容を示す文書。ただし、すべての同席者が示されたものであること。	
2 開示の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 閲覧 <input checked="" type="checkbox"/> 写しの交付 <input type="checkbox"/> 郵送	
3 開示の日時	令和2年12月11日	
4 開示の場所	蘭越町役場内（商工労働観光課）	
5 開示しない部分の概要及び理由	概 要	(1) 個人及び法人の名称で話題に関係性が低いと思われるもの及び相手方の担当者の氏名 (2) 「すべての同席者が示されたもの」
	理 由	(1) 蘭越町情報公開条例第8条第1号（個人の氏名） (2) 不存在
6 開示しない部分を開示することができる期日	年 月 日	
7 担 当 課 等	商工労働観光課(内線268)	
8 備 考		

教 示

- この処分について不服がある場合は、この通知書を受け取った日の翌日から起算して3月以内に、蘭越町長に対して、審査請求をすることができます。
- この処分について不服がある場合は、この通知書を受け取った日(前項による審査請求をしたときは、当該審査請求に対する裁決があつたことを知った日)の翌日から起算して6月以内に、蘭越町を被告として、裁判所に処分の取消しの訴えを提起することができます。

前回お話し申し上げましたけれども何とか私もここまで来ているのでしっかり結実させたいと思っております。今日はその方向感をしっかり固めさせていただければと思っておりますのでよろしく願いいたします。

一方でこの間のご相談等申し上げますけれども実は当社の監査役や株主向けの説明をどのようにしていくかというのが非常に重要になってきていましてそこについてどういうふうに進めたらよいかということが非常に〇〇になっている部分もありますのでそこは何とか色々ご相談させていただきながら進めていただけるような方向、具体的に進めていきたいと思っておりますのでお知恵もお借りしながら進めていければと思っております。

まずは前提条件をご説明させていただきたいのですが、

まず我々そもそも公募の条件を見させていただいた時に非常に充実した点がございまして譲渡金額以外の負担（保証金）等は一切なしという部分で我々としては右側に書いてある譲渡金額以外の負担（保証金）等は一切なしという記載から我々としては北海道からおそらく要求されるだろうスキー場の原状回復義務について連帯保証を我々としては蘭越町様が行うという理解をしております。実際何度山内さんとお話させていただいているときも北海道様と蘭越町様の間で蘭越町様のほうから連帯保証されるというようなお話で議論が進んでいたと理解をしております。ただ我々も不勉強だったのですが財政援助制第3条によって政府または地方公共団体は会社その他の法人の債務については保証契約することができないということで蘭越町さんが〇〇できないということでじゃあどうなるのかということで色々あったんですけど基本的に我々が別途、連帯保証先を見つける必要が出てきたというふうに理解をしております。我々の方でも原状回復義務についてどのくらいの費用がかかるのかというのを試算したところ何平米辺りに植林みたいな話がございます。これを試算するとおそらく最低5千万円必要だと理解をしております。北海道様に連帯保証をするときにはどの会社が連帯保証をするのか、しかも連帯保証先が5千万円の5千万円は最低ということなのでその5千万円の財務負担を行うことが可能な財政状態を持つ法人に連帯保証を頼むということが必要であるというふうに理解をしております。そのような状態に保つことが要求される法人が無償で勝手に連帯保証になるということは経済法制上難しいのかなと、そうするよ何らかの形で将来発生するかも知れない5千万円の負担を何らかの形で結局我々が差し入れたりとかというような形ではないとそのような法人に連帯保証人になってもらうのは困難だと理解をしております。その結果、弊社の監査役や顧問弁護士や株主の権利という視点から指摘することによってちょっとこの公募条件からすると理解が変わってきているからという中で一つは5千万円の負担増加に見合

う譲渡金額の軽減とか何らかの譲渡金額の支払い方法の工夫ですとかあとは蘭越町からの集客をスキー場の集客をご支援いただくとかいうかたちで何らかないちよっとなかなか難しいのかなということを強く指摘されているという状況です。

総務課長 北海道さんからはリフトを設置したのは蘭越町だから何かあったときに蘭越町さんが最終的な責任をもしも何か会社が逃げたりすると最後、蘭越町さんが負わなければならないよということは言われています。最初から。そういう意味で蘭越町は何かあったときの最終責任はとらなければならないと思いますけれどもそもそもやる会社さんが最初から逃げる気でやるとは思っていませんしそれは最悪の場合であって仮にそうした場合にあって当然蘭越町が一旦譲渡するものですからそれは道に対しては責任があるといわれることに対しては蘭越町はあるとは思っていますけれども最後に責任を負うとまでは蘭越町は思いませんでした。それは当然別契約でやる会社さんと何らかの〇〇をしなければ当然蘭越町が負うわけですから、それは蘭越町が丸々何かあったときには負うというふうには思っていないわけですよ。

そこがですね我々この公募条件を見る限りは保証金等は一切なしと書いてあるという点からするとちょっとそこは我々としては話が違うんじゃないかという・・・

総務課長 そうではなくて北海道さんが保証人さんに対して5千万円積みなさいということは一度も指導していないし今も指導していないはずですよ。それはそちらさんの会社の都合上株主への説明が何かの都合上そういうふうには差し上げなければならないということなんですよ。僕らにとってはまったく予期していない話ですよ。僕らが保証人に対して5千万円を積みなれば保証人になれないと指導しているなら別ですよ。

いずれにせよ一切保障なしというふうにごここに書いてあるという事実はこれを前提に我々すべて進めていたということでございますのでここから大きく乖離している事実で結局この一切保障なしというところから比較するとよく私共保障するところを見つけることができない、そうするとよくありますよ。家やローンを借りても保証協会に保障してもらうにはお金を払うわけですね、それが出ているということは違くとこれがビジネスマンとしてはそういうふうには主張せざるを得ない、これは民間というかビジネスでは当たり前なことだと思うんですよ。家を借りるときに保証協会に保証してもらったらその分保証金を保

証協会に積むじゃないですかそれと同じことで我々増えているわけでことと乖離があるじゃないですかそれはいかんともしがたい事実ですよ。

総務課長 それはスノーロックという会社に・・・

UT いずれにせよことと乖離があるのは確かじゃないですか。

町長 そんなことまで言って・・・

総務課長 そこまで言うならいいですけど、条件が違うと言ひ張るなら・・・

町長 それは契約もしていないんだからやめるのは自由だし。

総務課長 僕らが言っているのはそういう要求はしないということの条件であってそちらの会社の都合上そういうことをせざるを得ないということまでは認識していませんから、そもそもユーターさんが手を上げたものを子会社のスノーロックさんが今やろうとして契約すること事態どうなんだということになりますよね、僕らはユーターさんの会社ということに対していいですよという話はしますけれどもいくら100パーセントの子会社といってもスノーロックさんにじゃあやるのかということに対しては多少それはいいでしょうということになりますから保証だってコベルニクスという保証ですよ親会社か何か知りませんがそういうところに頼めばできないわけでもないのかなと思いますけれどそういうふうになんか強く主張してくるのであればそれはそれで僕らとしてはそういう考えであればちょっと〇〇〇そこまで厳しい話でやってもどうせ将来的にはうまくいかないと思いますね。

副町長 この〇〇でやっていただけるということできていただいたというふうに認識していますのでその後でどうだこうだと言われてもそのほうからいったら私たちはやっていただけなんだなという〇〇・・・

UT 保証金を積む積まないってということよりも債務保証が今まで無い前提が有る前提になったことに対する説明責任が生じたことは事実なんですよ。そこを強く生じて正直困っている状況もありまして要するに今まで会社の内部でも説明してきていましたので要するに債務保証は蘭越町さんのままに残るけれど譲渡金額5千万ですよという話のまま進んでいたのが後で債務保証が実際しなければいけないようになってきているのは事実としてあってそこに説明がかなり困って

ましてそういうふうの説明したらいいのかなというところが簡単に止めるというわけにはいかない状況〇〇〇最初に申し上げましたようにだまって嫌だから止めるという話には・・・ちょっとないぐらいで何とかしかりこの部分をどういうふうの説明するのか株主の立場もありますので。

町長 それはお宅たちの会社の都合で言ってるけれどもうちのほうはそんな関係ないんだから総務課長が言ったようにそれをこうだあだというふうなことであればこれは最初から契約が無かったものとして我々も議会に報告するし次の候補も来ているんだろう。

総務課長 譲渡した後に何かあったとき、なにかで経営が続けられなくなったときの撤去責任はどこにあるんですか。蘭越に被せるという事ですか。それではないですよ。北海道さんは北海道ですから最後地方自治体に面倒を見てくれというふうなことの担保はしますけれどもそれは言っても譲渡した会社さんが最後何かあったときには譲渡したところの会社の責任で最終的に原形復旧しなければいけないというそういう責任を負うということは当然ですよ。そのお金を先に積んでおくのか後で発生したときにその会社さんが払うのかということについては僕らの知らないところですよ譲渡した後は、

町長 たとえば役場の色々建物を建てるのに先に前払いしたりするんでその安全を取るのには保証組合に金かけているんだけどそれは掛け金を掛けているだけで参ったらそっちで払いますっていうだけの話で我々はそんな今言ったような会社の事情を分かるわけでもないしそれは皆さんの方の考え方とかそういう取引上の話で我々はここでユーターホールディングが買うといったから議会に報告してその辺りに来ているのがこっちは真剣にやりそうだというから言っていることであってそんなお互いに迷うことであればこれは契約しているわけでもないし契約しているのであれば信義誠実の原則で契約には書いていないことであればお互い協議してやればいいことで出だしからこういうことどうだあいうことはどうだというのであればこの際はっきり言ってどうしようもないことだ。

UT はじめましてと申します。スキー場の経営とコンサルをずっとやってきた者でこの近くの仕事ですと最近の仕事ですと、スキー場から今のマネジメント会社に移る場合も運営の方のアドバイザーとして仕事をしていました。その前に2002年から倶知安町ですぬニセコ比羅夫地域再興のほうの仕事をしていて、スキー場や北海道の小さい方

言ったんだけど結果的にはうちのほうに有利な和解をしてくれた。そういうふうですっていろんなことがあるものだから議会の方でも必ず間違いなくやるんだろうねと問題もあったんです。我々もこれで本当に止めるかどうか悩んだんです。なぜかというとな防衛庁がそこで訓練をやっているんです、1シーズンの間に何百万からの契約があった。その金が欲しくてもっと増やしてくればやれるということで幕領のところまで行ってきたが防衛庁にもお金がなく今の段階では無理だということで・・・

もしこれは考えてもどうにもならないのだったらそっちはそっちの会社の事情があるでしょうから我々はすんなりここでどうだこうだと角を突き合わせてやることでもないし・・・

UT

我々はですね冒頭に申し上げました状況ですね、何とかやりたいと思って進めては先ほど引き戻しができないと言ったのはこれなりにコストをかけてでもやりやいわけですよ、周りにレビューションもありますし業者にも発注している半ば発注状態になっていますからはい、やめますという訳にはいかないんですね、これだけ一点ご理解いただきたいのは最初に、我々後で難癖つけている訳ではまったくなくてそこは誤解が生じていると思うのですが最初に債務保証がまったくする前提ではなかったのか、後から債務保証という話になったのは事実でしてそれを株主に説明できなくなっているのは事実なんですね。ちょっと困ったからどうしようかということの今日のご相談でして色々アイデアを考えてきたのでお聞きいただきたいと思うんですけど。まず幾つかあるのでご覧いただきたいのですが思いつく限り箇条書きで書いていますのでご説明させていただきます。

まあ〇〇的にこういうのがあるのでというのを箇条書きさせていただいたものなんですけれども一つは、今すぐではなくたとえば〇〇事業撤退を決定した時点で5千万円というのを〇〇支払うというパターン。あとはちょっと遅らせてだいぶ後、たとえばということで10年後と書いてありますが一括で支払う。あとは分割で支払う、毎年一定金額支払ったりあとスキー事業が黒字になった時点以降で利益の一定金額を5千万円になるまで支払っていくパターン。本当に思いつくまま出して・・・

金銭的な帳尻合わせの為の方法として書かせていただきました。それからもう一つ契約上の方策としてこういうことが検討できないかと書かせていただきました。

これも本当に理論的な感ということで原状回復義務は蘭越町様から譲り受けた時点ということで植林などはしないということで植林等の原状回復義務を別途北海道様と蘭越町様で結ぶとか、あとは我々当初、町民優遇料金で最初からというふうに見てきたんですけれどもちよっとここの負担が厳しい場合もあるかなというところでこれは立ち上がりを見ながらこの5千万円払ったとしてもすごく収益が良くて優遇措置を入れても大丈夫だよねとなったときになってから検討するとか、まあ幾つかパターンを考えています。

町長

分割で払うのは駄目だね。何故かといったら私も東京第二弁護士会の管財人である会社のことで・・・うちで譲渡して分割にすると総務課長の話で決めたんだけどその分割が入ってこないうちに会社が倒産して会社更生法103条で払えないというのでうちのほうも弁護士を頼んだら向こうの弁護士に負けるなと色々ありまして当時の町長が自分自ら行って弁護士と会ったら会社更生法103条で全然金を払うなんて自治法であろうと民法であろうとそれは最優先だと言われて幸いにして言ったことを全部記録していたのを債権者会議はいつあるんですかと聞いたら2月だとこの会社は最終的にはどうする〇〇でもないんだと自分たちの弁護士料を管財人のお金を貰うためにやっているような会社だと言ったら怒り出したんだけど結果的には9千万のところ6千万払ったんですよその時の弁護士さんの言うにはあの不動産鑑定に〇〇たらあの土地は2万か3万だとそれを何で90万で売ったのかという話になった。それは冗談でありませぬよ不動産の価値というのは自由取引、自由市場において決めるものだから入札を全国にかけていいですかと言ったらあなた方が入札に来て一番高く買ったんじゃないですか、今下がった〇〇というのはあなた方が何もしないうちにそういう価格が移動しちゃったんじゃないですか。弁護士も困って最終的には9千万円を6千万払うとタン60万払うということで払ってくれてどこか書類に残ってる。払わないということは社会正義に問題があるということで払ってくれた。結果的には会社の理由とか色々あるとは思いますが最初から原形普及がどうのこうのと気になさっているようだけれど実際に続けていたらこんなの必要のないことで・・・

UT

説明のつじつまをどう合わせるのかという問題が生じているのは〇〇〇、勿論撤退する気はまったくないんですけど。

町長

分割は全然無理だということです。

UT

二番目のその他の方策のところ

町長 これは分らん。どう思う。

UT

これはちょっと北海道〇との調整があるかもしれませんがちょっと〇〇としての材料としてもってきたのですが最後にちょっとこのです。これはちょっとお願いいただけないかなというところで、こちらのご説明をさせていただいたんですが、一つは開業したときに町長のご挨拶を頂くのとテレビ取材とかです。〇〇したときのPRをお力をお貸しいただけないかなというのでPR活動のご支援を頂けないかなという。それから2番目にはですね町民の利用の促進をですね町民の方にたくさん来ていただきたいのでそれをうまく促進させるようなことができないかということですね一つアイディアとして思いついたのが町民のスキー利用における支援金を頂くようなことが叶いませんでしょうかということでもしくはスキーの一日券の購入及び町民の方への配布ということが叶いませんかということです。またこれはまったく別な観点なのですがニセコ地域が片山町長にお会いしておきまして片山町長からも仰っていただきましたがだいたい人が溢れかえっているのでニセコ地域からチセヌプリまでのバス運行をご負担いただけないでしょうかということ。最後はこの間オープンした相乗効果を持っていきたいので日帰り温泉の利用、雪杖父のほうの利用でスキー場の利用者へ優遇料金を設定するなど何か方策はございませんでしょうか。ということで我々もやるとするとやはり投資が伴うもので成功させたいので町と一体した経営というのをやっていきたいので角を突き合わせるつもりは毛頭なく株主への説明で債務保証が想定していなかったのがまあ撤退時以外は発生しないので撤退するつもりは毛頭ないのですが一応そのじゃあどういう理屈で後からそれが付いたのだということについての説明が町と一体経営をするのでPR活動をまあ町がご支援いただいているという状況がつくれればですね一つの説明材料になるのかなと思ってお待ちしています。一応、お金の条件面、契約面それから集客面それらそれぞれにご検討いただける余地があればご検討していただけないかなと思っっているんです。

総務課長 僕はこの一番最初に〇〇さんが言われたように公募条件の言葉尻をつかまえて負担保証金は一切なしというのは先ほど町長が言ったようにカンボしてもらおうお金は要りませんよという認識の条件であって撤退したときのお金を積みめとかあるいは負担しなさいということは勿論考えていませんし、そういうことと言葉尻をつかまえて負担が増えたから譲渡金額を安くしろというのは我々として侵害だし本当にユニーティさんでよかったのかという気持ちになりますから。

譲渡金額をそのことで免除してくれということではなくてこの負担が保証しないという・・・

町長 この間、社長こういうことが発生するから譲渡金額は・・・

UT

それは山内課長、僕がご相談して町長に直接ご相談してみてもどうですかということから私が申し上げたことですから。

総務課長 それは分かります。

UT

譲渡金額どうこうするというよりも山内さんにおきまして町長に一旦ご相談してみてもどうかということだったので申し上げたんですよ。そのもとの要因がというのはもともと蘭越町さんが直接、蘭越町様がユニーティの保証をしていただける様な格好が取れるのかと思っていたらそうではなくなってしまったので〇〇〇から要求されている内容がですよそれが困っている一番の要因なんです。そこに最初に金銭的な5千万が出ていく出ていけなくなるとなると将来的な債務が増えたと認識する株主がいるのは事実なんでそれに説明をどうしたらいいかということなんでこれを揚げ足をとってどうこうということではないのでそこは誤解のないように。

総務課長 当初は自己資本が増えたと前回社長さんが一人で来られた時に自己資本でやらないと、対応しなければならぬと話でしたよね1億円。

UT

それはこの話とはまったく別の話です。

総務課長 それで大変なんだということその後〇〇さんから説明の情報で・・・

UT

それは何回もご説明しますが譲渡金額とその全体の資金繰りの話とはまったく別ですね。要するに契約上の債務が増えたことについての説明責任が生じていることについてつじつまを合わせたいというだけでそこは何回も申し上げますが誤解のないようにしていただきたいですね。

町長 自治体はどっこも町でもそうだと思う、要するに法律で絡まれているものだから法律で自治体という仕事とか契約とかみんなあるいは民法、あるいは憲法、あるいは地方自治法という中でやっているから民間のようにはいかならないということを理解してもらわなければいけないと思う。この開業時における町長の

挨拶などはこんなのは民間のどこの会社が全然関係なくやってもどこの町長も村長も行って挨拶しているんですよ。

UT

是非、お願いしたいなと思っています。あとは町民をうまく利用促進させるようなことはできないかなと思っているのにご協力いただければ運営自体はうまくいきそうな、いけるような状況をつくっていきたいと思っています。

町長

ニセコの町長は要するに観光圏になって俺のところに入ってくれと何度もきて頼むから・・・こっちが提案しているバスを運行しろなどそういうことは事務局にいつてみたらどうだ。この間も言うように倶知安の町長にもこっちの町長にもオリンピックに札幌にいつて手を上げるよう春から言っているわけで二人の方の事情があるから俺はどっちでやってもいいんだがニセコ連峰をアピールするにはそうやってくれと二人の町長にきいてもらってくれ、言っているからロゴマークも一緒にして案内板もサインも全部同じにしてそれからバスも、うちはやらないから上げていつてる、温泉まで来ないから温泉まで上げて・・・色々あるでしょうけれど出だしからこういうことであればなかなか社長、うまくいかんね。私も本当にこういうことについては何回も前の町長のときから色々困難なことを経験しているから最初からこううまくいかないんだからこれは我々が議会で怒られても報告して白紙に戻してもらいより方法はないね。要するにニセコが今一番注目されているときでうちは裏ニセコのほうだからあれなんだよと言ってもそれでも〇〇〇。だから聞いてると思いますがうちの温泉を開業したら三分の一くらい帰っている整理ができなくて入りすぎて。そういうような状態は何で起きるのかということそういう所に良いところがあるんだよというロコミで、混んだらまたまた来るからね、一昨日は室蘭の青山市長がきて入れなくて帰っていつたしニセコ町長の片山さんもそうだ。そういう状況の中だから我々もリフトは間違いなく急いでやりたいところだけれどもそうやって時間ばかり過ぎていつてどうにもならなくなるから、そのあとめちゃんとどうでしょうかと言っているから我々は本当は外国資本にはやらせたくなかった。正直言って。本当にその通りいくのかどうかということもあつてこういうふうになれば結果的にどこかがやらなければあの資源は折角の暖簾がなくなってしまうからね。

UT

外国資本というのはどういうことですか。

町長

外国の方に話を掛ければやってくれるところはいくらかもあるよということで、ある温泉も今止めるんだけど外国資本でいつたんだけどそれは止めるように

いつたんだけど売ってしまった。3代も続いた新見温泉が。後継者が居ないから。

副町長

社長さんが最初やっていただくという計画書を聞いて議会にもきちっと報告して〇〇でやってもらいますという形で進めてきたから早くやっていただいで議会ともきちっと話をしていただくのをこっちも待っていたんですよ。

町長

説明しますからという話をしてたんですから間違いなく、説明しますからというから議会で報告して。

副町長

町長もできる場所は、振興局にいつて直接いつてこうやってできますといつて・・・

町長

まあいずらしいことばかりいつていたから、あんもなければこんでもないと言いつていたから総合振興局長が時間がないからと言いつていたから帰りにいつていたモリブセンタ-に総務課長といつた。道の誰なのか、私がいつてきますからといつたら言わないで下さいと。そういう話になつていつたんだけどそれはうちと総合振興局との話だからあれなんだけれど、これはやっぱり最初からこういうふうな状態であればお宅はお宅でそういうふうな努力しているしやりたいという気持ちも分かるんですがやっぱりうちはうちで行政として今まで何回も前の町長のときからやりかかつては途中で契約して駄目でどうでなつて私が総務課長のころから何回もそういうことが起きているから心配の種も作りたくないし。

UT

町長のご意向は分かりましたけれども先ほど申し上げましたようにですねこれは今当社の中ではこの事業そのものをやる前提で当然ながら参つたわけですね。関係者にも説明し業者への発注等も半ば行つているような状況になつているわけです。当然ですけれどもここに至るまでには当然事業の企画ですから内定いただいた時点からコストと知恵をかけていつてきていますので何とか結実させていつていこうとあるんですね、やめるとなつても説明の付かない状況になつていますので、今申し上げましたとおりに今回のことを結実させるためにいるんな方を考へて参つたのですがどうご評価いただいでおりますか。

町長

これはできる部分と先ほどお話ししたように行政という立場からすると私が個人会社でいつているわけではなくお宅だつて資本を集めてた中での社長をいつているわけだからそれと同じで私はいつてみれば自分の権限は限られたことだ

けだからどこの市長村長でも〇〇〇だから。この中でできるかどうかといったらできなことが多いないという気がする。

UT

逆にできる部分を教えていただいてそれを理由にするという方向で考えていくのはどうでしょうかね。これならできそうだとことを教えていただいて。

町長

総務課長どうなの。

総務課長

挨拶などは町長は得意なのでできると思いますけど何よりも止めたときどころの話を蘭越町にまる投げする気でいたのかと思いますよ、ちょっとそうではなくて止めたときに仮に撤退のときはそちらの責任でやらなければならないということは手をあげた時点で・・・

UT

やらなきゃならないという認識はもちろんあります。まる投げする気はありませんが蘭越町さんが責任を負っている状況なのは理解しています。ここに保証金なしとあったので蘭越町さんに残ったままなのかという認識だったんですよ。ただそれが契約上保証人を立てて移さなければいけないという状況になったのは後から聞きました最近ですよ。なので説明に困惑しているのは事実です。つじつまを合わせるための何らかの集客のご支援であったりいろいろな契約上の手続きとかなにかしら説明しないとですねこれで契約がご破算になりましたというのは尚更説明がつかないという話でそれは困るなというふうに感じていますので逆に可能なところがあれば教えていただければそれで説明できるかどうか早々にご回答申し上げることができる〇〇がつくれるんですけども。ちょっと説明がつかないですよ、我々もかなり時間とコストをかけてやっていますからこれは何故断られたのか蘭越町に、何故契約がご破算になったんだということについて・・・

町長

契約ではないよね。

UT

契約ではありませんけどね。説明していたことが何故ご破算になったんだという説明に答えられる何も内容がない。

町長

うちも断る気はなにもないの、我々の持っている条件とそちらの条件との食い違いが進めていけないということになっちゃうんじゃないかということ。

UT

いいえ、なるほど分りました。それであれば今申し上げた全体の事業契約書

というのはご提案書を最初に差し上げたとおりでございます。これは変わっておりません。あと重要なのは先ほど申し上げたように何度も申し上げますが保証人にならなければならない状況が生じていますのでそこを何らかの形で着地点を見出していただければ・・・

町長

ただ先ほど総務課長も言ったよう我々もにユーターホールディングというがそういうふうを買ってやれる能力があるのかどうか実は内輪の方でも会社の内容について失礼だけれども蘭越町がインターネットで取れるくらいのことだから知れているけれどそういうことで調べて子会社を蘭越につくってやるなどということは全然考えてなかった。

UT

それは御提案書に記載させていただいていると思います。子会社をつくってそれは蘭越町につくった方が蘭越町の税制に少なくとも良い影響を与えるのではないかということから最初に・・・

町長

それはどこの会社であろうと出先の事務所をつくるのは全体の儲けが出ればその割合で法人税を払ってもらう。

UT

なのでそれは提案書に最初にお書きしたとおり蘭越町にもともと会社をつくってやりますというのは宣言しています。

町長

ただ正直言って子会社でやるというのはそれはよこしたから見ているとしてもこういう条件が次から次へと出てくるということは誰も予想していないわけでそういう条件の合わないことでどうだと言われてもこれは後から出てきた問題なんだから、だから正直に言って我々は契約するときに色々なことで自衛隊として問題が起きないのかということをやっているわけです。なお契約しても地方自治法321条、96条に議会が決めなかったら絶対に駄目ですよという売買契約というのがある極端な100万のものを10万で売りますなんていったらそれはできないようにその90万を損失しますというように議会にかけてから契約するようになっている。

UT

何が逆にあれでしょうかできにくいとか条件〇〇と仰っているのでしょうか。

町長

何もこういう条件がなかったら何のこともともなくやれますよ。

UT 逆にたとえば集客のほうのご支援のところでご協力いただけそうなことはないでしょうか。

町長 だから町長が病院が札幌に特養をつくったから挨拶に来てくれといったのはそこだから。行ったら私のビデオを直して町長の〇〇やてるんだなんてやってくれる。それはお互いにそういう問題はあるけれど要するにどうなの。

総務課長 その他の方策なんかは無理ですね。植林などしない・・・集約のところでは今言ったように頭が一番上だとかPRなんかは・・・

町長 それは蘭越のホームページなどでニセコだつてどこだつて企業優先に利用し下さいとやっている・・・

副町長 バスの観光圏は、そういう動きは町長が言っているから・・・

町長 やるかやらないかは相手のあることだからわからないけれど、うち独自でも蘭越から車を一日2回上げているから。

UT これは駄目ですかね、町民の利用促進でチセヌプリの日滞りの優遇料金〇〇検討して〇〇〇。

町長 チセヌプリは日滞り温泉料の優遇は考えられるのではなか。雪秩父は考えられるそれはそこを利用志にきた人ということでは例えば500円のところを50円か100円下げるとか下げられるかどうかは分からないが。

UT あと小中学生に向けてできるだけ町民の方々スキー場を利用していただくように町からPRしていただくと。

町長 まあそういうことはいくかいかないかは我々何時も説明しているんですけど議会でも失礼な話だけれども馬を水のみ場に連れて行くことはできるがただし水を飲むかどうかは分からないということでしょうと私はいつも言っている。努力したとしてもできないことはあるので。

UT それhあこのページの蘭越町様の集客のご支援というところについてはある程度できそうな感じですか。

町長 まったくある程度だな。

UT ここは駄目ですか町民のスキー利用推進で一日券の購入・・・難しそうですか。

副町長 こういうのをどうだどうだと言うか、やりましようとなつてから町のために入ってきてもらって頑張つてやっているから町のほうでも色々な部分をお願いしますというのとこれはできますかできませんかというのはなんか違うのではないか。

UT ちょっと言い方が・・・何らかのアイデアをこれでも捻り出したのでご理解いただきたい。我々も後から想定していない事実が生じたのでどうしても説明するのにですね・・・じゃあこのページでご検討いただくことと町長のご挨拶とPR活動のご支援とバス等についてはOKだということではよろしいでしょうか。それであと町民の利用促進・・・

町長 バスは3町でやっているから私がそう言っても果たして彼らの〇〇あつてやれるかどうかというのも非常に疑問なことはお互いに切磋琢磨して頑張っているのだけれどこれは経験もない町長方が張り切っているのだろうけれど本当にそうできるのかということもあるだろうしそういう問題は色々あると思う。だから私たちは今までこのスキー場をあるところがやると言つて7億4千万くれたのか、昭和42年に造つたリフトも駄目だ、そして今のリフトがある。そしてついでに雪上車も貸してあげましようといつて3千万もするのをもつてきてやつてくれた。雪上車は最終的には対応年数がきたので200万で買つてくれというので買った。けどもう駄目だね。

UT 我々もう雪上車を発注しちゃつておまして3千700万くらいの新車ですけど、ちょっとそういう意味では色々なことがスタートしているのもありまして・・・

町長 正直に言つて我々も過去にスキー場のリゾート開発で35、6年もまえからそういう問題ばかり起きてその中で私はどうしようもないからこうやろうああやろうと苦労してきた。たとえば農協が金貸し取れなくなって最後にしめじをやつて相当儲かつたときには喜んでたんだけど、いよいよまた役場から金を出してくれというときに私がこの貸借対照表はインチキだとそうやつて町長に言うわけにはいかないから担当課長に言つて税理士に見てもらつたらこれはおか

しいということがあって最後には潰れちゃってそのお陰で農家が潰れちゃう農家を助ける支援をそうするかということで議会でもめにもめて最終的には私が担当していたわけじゃないがお前の考えでやった方がいいと言われその当時の金利が6.9パーセント〇〇〇〇。あなた方が金を貸してそういうふうになったんだから金利を最高のところまで出しなさいと、それで10年間やったら結局何千万にもなるから最初から困難なところをみんなに言ってるもんだからそういう困難なことが起きるようであれば折角やりかかってくれたんだけどこれは諦めたほうがよいのではないのでしょうか。

UT

先ほど申し上げましたように諦める、分かりましたという状況にないものですから申し上げたとおりだいが時間と労力とコストを掛けているので何とか結実させたいとずっと申し上げていて思っているそのための資料も可能な限り考えて持ってきておりますので、1、2番目が駄目なのは分かりました、理解できましたけれども蘭越町様の集客のご支援のところについてはご理解いただいたところもありますのでそれ以外のところでもご検討いただける余地があれば一度お考えいただければありがたい。それがあななしに関わらずもうとにかく説明してですね進んでいるんです我が社の方の事情としても・・・

町長

うちのほうも議会に話をして〇〇〇でもらわなきゃならないから一番お堅い役所がそれをどうなったんだどうなったんだと我々の議会とか外の議会もそうだけどそれは株主総会よりまだ悪いんだ。なぜかという道庁でも言いつ放しだから責任だから自分の持っている株が無くなるわけではないから、なくなると思ったら経営者にこうやってくれと言うたって我々は一方では4年たったら住民に首を切られる、お前は駄目だって変な契約をしたってなるだろうまた変なことをすると喜茂別の前の町長のように随分一生懸命やっていたんだけど議会に対する予算補正もやってもらっていたのに何かどうだとか言ってそんなのもあったり色々聞いているからこの問題はなかなか役所とないという難しい問題があって役所はずい話ではないけど今まで色々経験しているからあまり将来に渡って壁を言うとか将来に渡ってやれないことをうまく乗せるとかそういうことは私の性格からいって嫌なのさ、できないことはできないとはっきり言っておかないと後からの喧嘩は・・・

UT

〇〇〇、その町長の挨拶とPRとそして観光圏のバスがやったときに可能な限りそのところでやっていただくというこの条件で社内の方を説得するという方向で・・・あとは温泉ですね・・・

町長

温泉はそれは全部まけるなんていうことはできないし入湯税の関係もかかることだしだけどそれはお宅のスキー場に来た人がうちに入ってくれば相乗効果がお互いにあるわけだから何の温泉もあるよ帰りに癒して帰ってくださいということになればお互い様の話だから。その最初のリゾートもそうだった。スキー場をあとから乗せてくださいと、うちはこういうのをやるから優先的に乗せてくれるのだったらという話だったんですよそうじゃなかったら7億4千万もあんなまったりなところに寄附なんてするわけないしそれほどあの辺は魅力的だったんですよバブルのときは、今はまた改めて見直されてきていますかそれは山田地区ばかりでなく多少こっちの方にも新しい住民が入ってくるということでやっぱりニセコはいいねということだし清流日本一の川があるというのも凄い米が日本一の〇〇もあるわけだから米一グランプリも商標登録も取ったわけですから蘭越米という。

UT

私も東京でたまたま居酒屋に行ったんですよ。ゆめぴりか蘭越米使用と書いていたので思わず注文したんですよ。

町長

佐藤水産は随分やってくれている空港でもね。明後日かな知事のところにお米を届けに行く。

UT

分かりました。ほかの条件が駄目なのは分かりましたのでこれで会社の内部をすぐ説得しますので色々申し上げましたがこれで何とか進めさせていただくことはできないでしょうか。

町長

私も今日来るといったのはどういう条件かということがよく分からなくて今最終的に聞いたものですからおそらく議会いつ開くんですか説明しますよこの間から言っているからそういうことで来てくれるのかなと思っていましたよ。だけどこういう話になったから。

UT

10月の26とか28に次回おやりになられるということで慌ててきているというのにも間に合うかどうか分からないですけれども。議会運営〇〇〇。

総務課長

コウジ契約が一本あるものですから臨時議会に・・・それにぶつけて・・・

UT

私としては最初チセブリの話をガイドに聞いてそれから何とか宮内町長にご挨拶したいということがですね、村の村長に頼んで、村長がさんと仲が良いということがわかったので良く来られているようだってですね

UT

それはお任せいたします。そういったお話があれば形ができますのでそれを
持ち帰ってすぐにご希望と進められるふうにしていきたい思います。

これはもう明らかにできるといったところで事業計画をつくって直ちにご提
出いたしますのでそれがもうファイナルの事業計画と・・・

それ以上何か申し上げることはありませんので。

町長

先ほどから言ったように今日の話はここで聞いたわけですから我々も予備知
識もなかったし今ここでいいですよというわけにはいかないのぢよっとその
筋にも話をしてみてください・・・

UT

分かりました。よろしくお願いたします。

町長

わざわざ来てもらって勝手な話を・・・

UT

一応、具体的にこのように・・・

町長

わざわざすみません

UT

それではよろしくお願いたします。

有難うございました。

UT

色々申し上げましたがいろんな〇〇があって今日に至っておりますのでそこ
はご理解下さい。これ以上申し上げることはありませんのでしっかりと手を組
んで・・・